

33. 日露戦争 (1904年)

清では、「外国勢力を追い出せ！」と立ち上がった人々が義和団事件を起こしました。鎮圧することを口実に列強が軍を出兵。鎮圧後も南下政策をとっていたロシアは満州に居座り、朝鮮半島進出を狙っていたため、日本とロシアの対立が深まります。ロシアの進出を警戒したイギリスと日本は日英同盟を結びますが、これが日本にとって大きなプラスをもたらすこととなります。

日本政府は「ロシアが満州を支配し、その代わり日本が朝鮮を支配するのはどうか」と妥協案をロシアに示しましたが、ロシアはこの案を却下、日露戦争が始まりました。

戦争が長引くと日本の戦力は消耗。一方、ロシアでは革命運動が起こり、両国とも戦争の続行が困難になります。そこで、日本とロシアはアメリカ大統領の仲介で、ポーツマス条約という、終戦の条件を決める条約を結びます。(日本は韓国での優越権を得る、南樺太を領有、遼東半島南部の租借権などを獲得)

日本がロシアに勝つなんて世界は大変驚きましたが、ポーツマス条約で賠償金が得られなかったため、政府に対する日本国民の不満が高まり、日比谷焼き打ち事件という大規模な暴動が起こりました。

いくら押しても動かぬロシア

1904年

19. 第一次世界大戦 (1914年)

バルカン半島の都市サラエボでオーストリア皇太子夫妻がセルビア人に暗殺されました(サラエボ事件)。これをきっかけに、オーストリアがセルビアに宣戦布告。ドイツ中心の同盟国側と、イギリス中心の連合国側(協商側)に分かれて戦う第一次世界大戦が始まりました。

戦争はすぐに終わると思われていましたが、4年程続きました。戦車・飛行機・潜水艦・毒ガスなどの新兵器が登場し、国民を巻き込む総力戦となりました。

日本は日英同盟を理由に連合国側として参戦しました。といってもヨーロッパまで戦いに行くのではなく、敵側のドイツが権益をもっていた中国の山東半島や太平洋のドイツ領南洋諸島を占領しました。

1915年には、日本が東アジアでの権益の拡大をねらい、中国に「二十一か条の要求」を出し、中国にあるドイツの権益を日本に譲ることなどを要求し、大部分を中国政府に認めさせました。

引く意志なくて、列強激突

1914年